

令和元年度（平成 31 年度）学内研究助成金 研究報告書

研究種目	<input type="checkbox"/> 奨励研究助成金	<input checked="" type="checkbox"/> 研究成果刊行助成金
	<input type="checkbox"/> 21 世紀研究開発奨励金 (共同研究助成金)	<input type="checkbox"/> 21 世紀教育開発奨励金 (教育推進研究助成金)
研究課題名	ポスト・リゾート：インバウンド・ツーリズム時代の地域ビジョン	
研究者所属・氏名	研究代表者： 建築学部・堀口徹 共同研究者： 建築学部・松岡聡、建築学部・松本明	

1. 研究目的・内容

この出版プロジェクトは、日本における地域社会が直面する新しい課題、インバウンド・ツーリズムの増加、ツーリズムの主体や趣向の変化、頻発する大規模自然災害、あるいは 80 年代後半のリゾート開発の遺産といった様々な事象が集積する観光地（＝リゾート）の現状と未来を「ポスト・リゾート」というコンセプトとともに問いかける一連の教育、研究の成果の出版である。

2. 研究経過及び成果

2018 年度に近畿大学建築学部（大学院総合理工学研究科建築デザイン専攻）と台湾・淡江大学建築学科が共同で取り組んだ新しい実践型デザイン教育「国際建築ワークショップ in 白浜：ポスト・リゾート」（2018 年度 IR 教育改革推進・学内助成事業）の成果を主要なコンテンツとしている。これは二つの学術的価値から出版に値すると考える。まず、21 世紀を取り巻く社会環境の課題を整理した上で、観光立国を掲げる日本における新しい地域ビジョンを仮説的かつ具体的に提示していること。次に、この地域ビジョンの作成にあたり、近畿大学が包括協定を結ぶ和歌山県白浜町をフィールドに、海外協定校である台湾・淡江大学と合同で観光体験と地域分析を融合させて展開した新しいフィールドワークの方法論とその成果としての価値も有する。

2018 年 3 月「IR 教育改革推進事業」申請。4-5 月：プロジェクトの枠組み構築、白浜町（町長及び総務課、観光課）との調整、淡江大学建築学科（平原教授、柯教授）との調整。6-7 月：白浜町の事前リサーチ（建築学部）、課題作成、淡江大学と課題共有、受け入れ準備。9-10 月：ワークショップ準備（建築学部）。10 月 26 日～11 月 2 日（約一週間）：白浜町での「国際建築ワークショップ」の開催（11 月 1 日には白浜中学校で地元住民への成果発表を開催）。11 月：事前リサーチ及びワークショップの成果の編纂、編集者・出版社を交えた打合せ。2019 年 1-3 月：原稿執筆と全ページレイアウトの作成。本助成への申請。

2019 年 4-6 月：大学院生を交えた図版制作プロジェクトチームを立ち上げ、図版の再構築、調整を行う。2020 年 1-3 月：編集者も交えた編集委員会を立ち上げ、著者教員による原稿の再構成、図版、レイアウトの見直し、大学院生、外部編集者・デザイナーによる図版の仕上げ等を行う。

最終的な刊行物は、七つの章と五つの論考で構成される。世界各地の観光地（＝リゾート）に共有して存在する要素を「自然」「温泉」「宿泊」「食」「テーマパーク」「フェスティバル・祭り」「街並み」の 7 つのテーマとして抽出し、各章に当てている。それぞれのテーマに沿って白浜に存在する地域資源や風景を新しい視点で発見し直すとともに、可能性としての場や風景を提案し、ビジュアルで表現している。五つの論考はそれぞれ「リゾートからポスト・リゾートへ」「コンテキスト化されないモノたちのガイド」「白浜のイメージ」「見えない白浜 記憶の風景と可能性の風景」「台湾の温泉リゾートにおける多様性と価値観の対立」と題されており、リゾートとは何かを問い直す批評性を持った論考から、白浜の歴史を独自の視点で辿るものなど、白浜に関わる様々な地域主体に向けた幅広い構成となっている。

なお、多様な主体を想定した書籍として位置づけ直す過程で書籍のタイトルは『白浜ポストリゾートガイド』と変更しているが、内容に込められたメッセージとしては大きな変更はない。

3. 本研究と関連した今後の研究計画

2020年度から、大学院総合理工学研究科建築デザイン専攻における「建築実務演習Ⅰ・Ⅱ」を、従来の学外の企業等で行うインターンシップではなく、学内の実務家教員が指導する学内インターンシップとして位置付け直し、本研究で構築された教育メソッド、特に地域リサーチから、仮説構築、デザイン提案作成、出版を含めたアーカイブとドキュメンテーションまでを含めた実務的デザイン教育を展開していく。

また、白浜町との共同による地域リサーチは、地域連携教育プロジェクトとして今後も継続していくことが白浜町との間で共有されている。

4. 成果の発表等

発表機関名	種類(著書・雑誌・口頭)	発表年月日(予定を含む)
『白浜ポストリゾートガイド』 (地域デザインスタジオから刊行)	著書	2020年3月31日